

平成28年度事業計画

平成26、27年度に実施された丹後10次産業化拠点づくりに係る京都府の支援対策により、リニューアルオープン（平成27年4月17日）時の3つのコンセプト（①丹後の本物の食をあじわう拠点、②10次産業化の拠点、③丹後観光のゲートウェイ）としての基本的な整備が進みました。

また、平成27年度の公園全域「道の駅」指定、京都縦貫自動車道の全線開通等の効果もあり、平成27年度は来園者数が50万人を超えて記録を更新し続けています。

平成28年度は、道の駅 丹後王国「食のみやこ」として新生した公園の2年目として、リノベーションの成果を更に発展させ、株式会社丹後王国とともに、3つのコンセプトの具現化について、関係機関・団体や地域の支援、協力、連携を得ながら、丹後の本物の食の提供や食人材の育成等農漁業の10次産業化を推進するとともに、丹後観光のゲートウェイとして、丹後地域の総合案内・情報発信に加え、丹後地域の歴史・文化を園内外に最大限にアピールしていきます。

重点とする取組事項は、

- 1 協力会、地元市町や学校、関係団体等と連携した月例祭の充実及び人材交流、地域イベントの誘致促進、幅広い世代に利活用される公園づくり
- 2 地域や農業者と連携した新たな農林漁業体験や公園の資源を活用した植物観察、環境学習、食体験、農業体験等の企画実施
- 3 丹後地域の農林漁業者6次産業化（加工、販売）人材、食や観光人材の育成
- 4 農林漁業者と連携した食関連ビジネスの推進
- 5 丹後地域の道の駅と連携した「丹後の食」の提供、丹後観光の企画実施、
情報発信

<実施事業>

継1 地域交流イベント等の実施により丹後地域の活性化を図る事業

当法人の公益事業である地域交流イベント等地域活性化を図る事業について、株式会社丹後王国、丹後王国「食のみやこ」協力会、関係機関・団体との連携を深めて、一層の充実を図ります。

特に、リニューアルオープンコンセプト「丹後の本物の食をあじわう拠点」、「10次産業化拠点」「丹後観光のゲートウェイ」の取組を一層推進します。

1 異業種交流セミナーの開催

(1) 協力会会員の交流推進

(2) 広域連携事業の実施

○観光団体、商工団体等との連携

○「海の京都」事業と連携した園内イベント

○道の駅間の交流連携及び連携活動

(3) 「丹後農業実践型学舎」、「海の民学舎」、「食人材学舎」の研修等施設利用

2 丹後王国「食のみやこ」月例祭及び各種イベントの開催

(1) 教育機関との連携による利用拡大

(2) 京都「丹後・食の王国構想」の推進

○丹後の「食」を支える地元の高校や大学等と連携した「学生レストラン」の開催

○各種イベントにおける「丹後の食」のPR

○食育関係団体等と連携したイベント等の開催

○丹後「食」と「文化」の博覧会（丹後グルメフェスティバル）等の開催

3 ワインオーナー事業

○ワインブドウの栽培、ワインオーナーの募集

○ワインオーナー対象、各種イベントでの「食の王国」PR（開発商品、地域農産物等）地元産物の販売促進と活用

4 農林漁業者と連携した食関連ビジネスの推進

○丹後王国サプライチェーン協議会を通じた推進

5 丹後地域の道の駅と連携した「丹後の食」の提供、丹後観光の企画実施、情報発信

○道の駅案内所における丹後観光の情報発信等

<その他の主要な事業>

他1 公園運営及び施設管理

公園運営及び施設管理については、株式会社丹後王国に委託し、入園者の安全確保、良好な公園環境努めるとともに、自然環境学習、農林漁業体験の企画と実施等も含め、施設の活用を図ります。

また、手作り食品工房の管理運営についても株式会社丹後王国に製品製造、人材育成の企画と実施も含めて委託し、10次産業化の拠点を目指します。

なお、園内に出店する各事業体の特色を生かした食、体験等の提供を通じて公園の新たな魅力を創出するとともに、公園全域の道の駅指定を生かした取組の開発や、宿泊、体験を組み込んで入園者の増大及びリピート化、滞在型「道の駅」の実現を図ります。

- 1 京都府、京丹後市から借り受けた公園用地及び施設の管理
- 2 魅力ある公園づくりの企画と整備
- 3 手作り食品工房の運営（食の人材育成、加工食品（パン、ソーセージ、チーズ、アイスクリーム等）の製造）
- 4 自然環境学習、農業体験の企画と実施
- 5 体験宿泊施設の管理・運営（温泉活用の誘客、各種研修、会議利用の誘致）
- 6 広報宣伝
 - HPほか各種媒体による広報、府・市町の広報誌による広報
 - 新聞社、FMたんご等報道機関への情報提供
 - 新聞紙上、イベントプログラムへの掲載広告